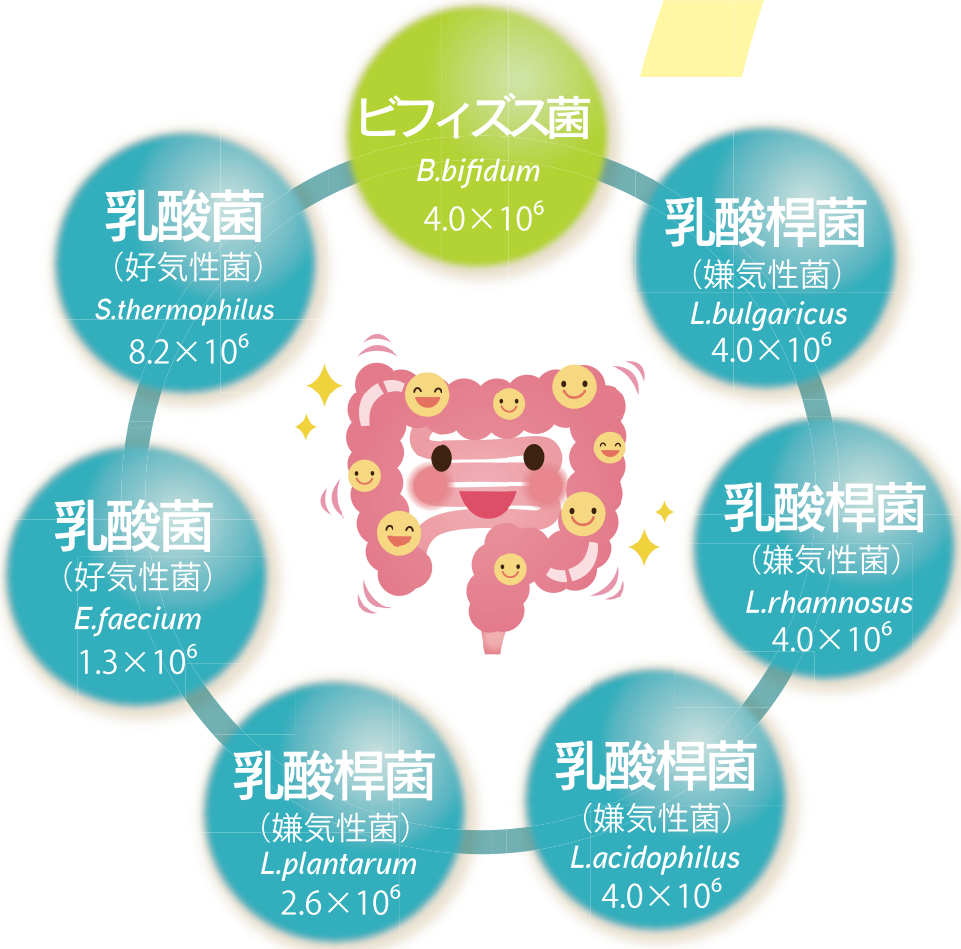
A 飼料 | 生菌入り混合飼料

ラクトリッチ
LACTORICH

ビフィズス菌と6つの乳酸菌でお腹の健康をしっかりサポート。



※乳酸菌の数は、製品 1g 中の数です。

牛と豚にも、プレバイオティクス。

体に有用な善玉菌（プロバイオティクス）と腸内細菌の栄養となる成分（プレバイオティクス）を両方摂取することで、お腹の健康を守る働きが相乗効果的に高まります。プレバイオティクスの代表格「オリゴ糖」は乳酸菌の腸内発育をサポートします。ヒトでは、消費者庁の「特定保健用食品（トクホ）」の成分として認可されています。

ラクトリッチには、プロバイオティクスとプレバイオティクスがバランスよく配合されています。

■ プロバイオティクス… 善玉菌そのもの

乳酸菌　ビフィズス菌

■ プレバイオティクス… 善玉菌を増やす役割

オリゴ糖

製造業者

リケンベッツファーマ株式会社
埼玉県入間郡越生町成瀬829-6

［製品情報・お問い合わせ先］
メール：riken@r-vets.jp
電　話：03-5888-6044

おなかにうれしい、
ラクトリッチの３つの特長

LACTORICH

「小腸」「大腸」の健康を同時にサポート

「小腸」「大腸」の健康に配慮し、複数菌種をバランス良く配合しました。好気性菌は小腸、嫌気性菌とビフィズス菌は大腸で腸内環境を整えます。小腸と大腸どちらの健康も維持するためには、複数の乳酸菌をバランス良く摂取することが大切です。

生きたまま届く、ビフィズス菌と乳酸菌

ビフィズス菌には腸内環境を整える「整腸作用」があります。ビフィズス菌は乳酸と酢酸を産生し、悪玉菌の増殖を抑制します。
生菌はマイナス 40℃で凍結乾燥し、マイクロカプセル化しているため、乳酸菌等を生きた状態で腸管まで菌を届けることができます。

腸に直接働きかける、「バイオジェニックス」

バイオジェニックスの代表格は腸内細菌の善玉菌が産生する物質です。バイオジェニックスは腸内フローラを介することなく身体に直接作用し、直接腸に作用して免疫機能を活性化させたり、腸内フローラ改善すると考えられています。バイオジェニックスによる疾病予防等も期待されています。

飼料の種類	生菌入り混合飼料
原材料名	培養液（乳酸菌・乳酸・ガラクトオリゴ糖）、イソマルトオリゴ糖、ビフィズス菌、乳酸菌、プロピオン酸Na、グリシン、炭酸水素 Na、重曹、ブドウ糖、無水ケイ酸、炭酸 Ca、糠
推奨使用量	１日１頭あたり、下記の量をそのままま たは飼料に混ぜて与えてください。 ＜目安＞　成牛：１日１回１頭あたり３０～５０g 子牛：１日１回１頭あたり１０～３０g 豚　：１日１回１頭あたり１０～３０g
保管上の注意	直射日光を避け、涼しい場所に保管してください。
原産国	日本